

令和5年度（2023年度） 第2回吹田市入札等監視委員会 議事録

- 1 開催日時 令和5年11月20日（月） 午後1時30分から午後4時30分まで
- 2 場 所 吹田市役所 高層棟3階 災害対策本部会議室
- 3 出席委員 （委員長） 小野 憲一  
（委員） 櫛部 幸子  
（委員） 長谷川 佳彦

4 会議の概要

- (1) 令和5年4月1日から令和5年6月30日までに締結した入札・契約方式別の発注案件の状況及び指名停止の措置の状況を委員に報告した。
- (2) 同期間に契約締結した予定価格が250万円以上の入札・契約案件のうち、委員が事前に抽出した次の案件を、所管室課の担当者同席の上、審議を行った。

案件	案件名
1	市内漏水調査業務
2	令和5年度吹田市立各児童会館建築物・建築設備定期点検業務 令和5年度尿検査業務【単価契約（当初契約）】
3	令和5年度 資源循環エネルギーセンター環境測定業務
4	吹田市立こども発達支援センターわかたけ園通園バス（Bバス）賃貸借契約
5	共通基盤システム構築業務（ESU 適用、国保システム及び文字管理サーバOS更新）
6	吹田市立吹田南小学校校舎大規模改造1期工事（建築工事）
7	吹田市立吹田南小学校ほか6校ほか中学校2校特別教室等空調設備移設等業務 吹田市立第二中学校ほか1校特別教室等空調設備移設等業務
8	吹田市立小中学校等無線通信式防犯カメラ機器賃貸借契約
9	吹田市立片山中学校職員トイレ改修工事（機械設備工事）

- (3) 令和4年度吹田市入札等監視委員会委員からの意見の対応状況を委員に報告した。

5 議事録

- (1) 入札及び契約手続等の運用状況の報告について

○事務局 資料1に基づき説明

(2) 抽出案件の審議について

【案件1】市内漏水調査業務

- 小野委員長 この落札した事業者は、過去に契約実績のある会社ですか。
- 水道部企画室 実績のある事業者です。
- 小野委員長 落札価格が安くなった理由で、新規事業者の参入を強く意識したためという説明が資料にあります。入札した事業者のうち、強く意識した事業者は、他にどの事業者ですか。
- 水道部企画室 その部分は聞き取りができていないので、特定できていません。
- 小野委員長 落札した事業者が1者だけ飛び抜けて低い金額をつけていて、次点の事業者と1,000万円くらい差があり、結構安めの金額であるので聞きました。現在、契約期間中ですが、履行状況はどのような認識ですか。
- 水道部企画室 例年と変わらず概ね順調に進んでいます。
- 小野委員長 履行状況は、どのように把握していますか。
- 水道部企画室 過去に行った調査と比較してどのくらいの状況で進んでいるかを確認し、必要に応じて本市の過去の担当者に相談したりして、把握しています。
- 小野委員長 事業者から定期的に、今月はどれくらい、何カ月に1回という形で報告があるということですか。
- 水道部企画室 日々、日報をもらい、進捗状況を把握しています。
- 長谷川委員 吹田市職員は、実際に現場に行ってチェックをしているのですか。
- 水道部企画室 事業者は、日々漏水調査をしていただき、毎朝、前日の結果を報告してもらい、協議もしています。協議している中で、例えば漏水か漏水じゃないかという疑問が出た場合は、職員が同行して一緒に調査しています。
- 小野委員長 それでは、この案件については特に問題がないものと考えます。

【案件2】令和5年度吹田市立各児童会館建築物・建築設備定期点検業務  
令和5年度尿検査業務【単価契約（当初契約）】

【令和5年度吹田市立各児童会館建築物・建築設備定期点検業務】

- 子育て政策室 毎年度建築物と建築設備の点検業務を行っており、過去5年間、同じ事業者が落札しています。
- 小野委員長 過去5年間同じ事業者が落札しているということですか。
- 子育て政策室 そのとおりです。
- 小野委員長 価格も5年間同じですか。

- 子育て政策室** 予定価格は前回の落札業者の見積を参考にして設定をしています。  
過去5年間は落札率100%ではありませんが、今回の落札率に関しては100%となったものです。
- 小野委員長** 前回の落札業者の見積書を参考に予定価格を決めたということですが、前回の落札業者が出した見積書と同額を予定価格としたのですか。
- 子育て政策室** そのとおりです。
- 小野委員長** 見積書と予定価格を同額にして、見積書どおりの入札をしてきたことになりますね。この事業者の仕事ぶりは、過去から見ていてどうでしたか。
- 子育て政策室** 業務はしっかり実施していると認識しています。
- 小野委員長** 業務の内容ですが、児童会館は吹田市に幾つありますか。
- 子育て政策室** 全部で12館あり、そのうち2館は指定管理ですので、今回は指定管理を除いた計10館を当該業務の対象としています。
- 小野委員長** 具体的にはどのような業務内容ですか。
- 子育て政策室** 建築点検、設備点検、防火設備点検の3件です。
- 小野委員長** 10館を回って設備を目視で点検する業務ですか。
- 子育て政策室** 各館を直接回って点検をするものになります。
- 長谷川委員** 過去5年間同じ事業者ということでしたが、予定価格の設定方法も過去5年同じですか。
- 子育て政策室** 基本的には、前回の落札業者の見積もりを参考に予定価格を決定しています。
- 長谷川委員** 指名事業者が7者とありますが、過去5年間についても同じ事業者を指名しているのですか。
- 子育て政策室** 過去5年間も同じ事業者7者を指名しています。
- 長谷川委員** 他の事業者を指名する可能性は無かったのですか。同じ事業者を指名していたら結果が変わらないのは同じかなと思うのですが。
- 子育て政策室** 平成29年は11事業者選定しているのですが、第1回の入札の応札がなかった者は省き、それ以降、平成30年度からはこちらの7事業者を指名しています。
- 櫛部委員** 5年間、同じ事業者がずっと実施しているということですが、他の指名してきた事業者も5年間一緒だというお話で、落札した事業者以外の事業者の入札の価格と今回落札した事業者の価格はかなり差があるのでしょうか。他の価格とはすごく僅差で決まったのか、それとも、極端に低い価格で入札しているのでしょうか。
- 子育て政策室** 令和5年度は、次点落札額との差額は8万8,000円となっています。
- 櫛部委員** 分かりました。

【令和5年度尿検査業務【単価契約（当初契約）】】

- 保健給食室** 令和5年度の尿検査業務は単価契約で入札をしていますが、落札率100%

ということで、この事業者は昨年度も今年度もこの業務を実施して、適正に業務している  
るので、適正に入札も業務も執行できていると感じています。

- 小野委員長 この落札した事業者が昨年も落札しているのですね。
- 保健給食室 そのとおりです。
- 小野委員長 昨年度の落札価格と今年の落札価格は同額なのですか。
- 保健給食室 この業務は単価契約で、3項目の単価で契約するのですが、昨年度は、予定  
価格の単価が250円、250円、450円だったものが、入札では230円、230円、400  
円で落札率が91.9%と、予定価格を下回っていたのが令和4年の状況です。今年度は  
予定価格については昨年度と同額でしたが、入札では250円、250円、450円と予定  
価格と同額の単価で、事業者が入札しました。
- 小野委員長 分かりました。先ほどの説明のように業務の内容は特に問題なかったとい  
ことですね。
- 保健給食室 そのとおりです。
- 長谷川委員 入札結果等閲覧台帳を拝見すると、辞退が結構多いと感じますが、なぜか教  
えていただけますか。
- 保健給食室 幼稚園、小学校、中学校で集めた検査キットを取りに行くので、運送の手間  
がかなりかかるということが、入札に参加しない理由と聞いています。
- 小野委員長 それではこの案件は2件とも特に問題がないものと考えます。

#### 【案件3】令和5年度 資源循環エネルギーセンター環境測定業務

- 櫛部委員 予定価格の算定方法ですが、今回この業務を請け負った事業者が昨年度も同  
じ仕事を請け負っていて、ここが予定価格を算出して来たのですか。予定価格の算出方  
法はどうなっていますか。
- 資源循環エネルギーセンター 予定価格については、同業務が毎年行っているものなの  
で、昨年度の実績ベースで組んでいます。
- 櫛部委員 実績ベースというのは例えば、前回の事業者が出してきた予定価格とか実際  
に支払っている価格とか何かありますか。
- 資源循環エネルギーセンター 実際に事業者を支払っている金額です。
- 櫛部委員 昨年度落札したのも今年度と同じ事業者ですか。
- 資源循環エネルギーセンター そのとおりです。
- 櫛部委員 過去何年間この事業者が業務をしているのですか。
- 資源循環エネルギーセンター 申し訳ありません。今、詳細な情報を持っていません。
- 櫛部委員 少なくとも昨年度はこの事業者がしているのですね。
- 資源循環エネルギーセンター そうです。

- 櫛部委員** 記憶として一昨年もこの事業者がしていたといったことはありますか。
- 資源循環エネルギーセンター** 私の記憶では、3~4年前まではこの事業者が続けてこの業務をしています。
- 櫛部委員** この事業者は、予定価格が大体分かっている状態で今回も入札したということが想定されるということですね。
- 資源循環エネルギーセンター** そうです。
- 櫛部委員** 落札事業者の入札価格と他の3者が出してきた入札価格は金額に差があり、大きさに言うと倍近く高い金額を出してきているところもありますよね。実際に今回の落札事業者は、予定価格を大体知り得る立場にあるからこそ、これぐらいの価格で出していると想定されると思います。落札事業者以外の事業者は過去に何回も入札にチャレンジしている事業者ですか。それとも、今回が初めてですか。
- 資源循環エネルギーセンター** 申し訳ありません。指名競争入札の条件を毎年変更しており、過去に入札していた事業者かどうかはこの場では明確にお答えできません。
- 櫛部委員** 5者も辞退していますが、辞退された理由は分かりますか。
- 資源循環エネルギーセンター** 辞退届に記載された内容では、業務多忙のためや、資材の確保が難しいためと伺っています。
- 長谷川委員** もう一度確認したいのですが、他の指名事業者が過去も同じ事業者かどうかは、調べれば分かるのですか。
- 資源循環エネルギーセンター** 調べれば分かります。
- 長谷川委員** そうすると、これは感想なのですが、事業者が同じであれば、結果も同じになると思ったので少しその点を分析してもいいのかなと思います。少し入れ替えるとかすると変わってくる可能性もあるかなと思いました。
- 資源循環エネルギーセンター** 入札参加事業者については、入札参加資格の認定があるかどうかの他に3つほど条件を出しています。その条件には国の機関であるか等、色々な条件があるので入れ替えるのは中々難しいのかなと考えています。
- 長谷川委員** 分かりました。
- 小野委員長** この環境測定業務の内容ですが、どの場所で大気環境を調べるという業務ですか。
- 資源循環エネルギーセンター** エネルギーセンターのごみ処理場で、排ガスや排水の分析を行う業務です。
- 小野委員長** その測定結果の報告は、どのような形で市にあがってくるのですか。
- 資源循環エネルギーセンター** 1検体、1検体、冊子として提出されます。
- 小野委員長** 分かりました。
- 櫛部委員** 先ほどの予定価格の件でもう1度、お聞きしたいのですが、今回の予定価格は従来から請け負っている事業者を支払っていた価格で算定したということですね。この価格なのですが、他の参加している事業者は、大体予想が付くのでしょうか。それ

とも全く情報が入らない中での入札になるのでしょうか。

- 資源循環エネルギーセンター 契約金額については情報公開しているので、調べればすぐに分かる状態にあると考えています。
- 小野委員長 それでは、この案件については特に問題がないものと考えます。

【案件4】吹田市立こども発達支援センターわかたけ園通園バス（Bバス）賃貸借契約

- 櫛部委員 案件17-1、案件17-2、案件17-3、案件17-4について、私としては一つ一つ別々の事業者をお願いするのではなく、効率や安全面を考えたときに、一つの事業者をお願いした方が、業務としても、請負う方にしてもやり易いのではないかと思います。この業種はメンテナンスにもお金がかかるので、中々入札に参加する事業者を探すことが難しい業種になるのでしょうか。
- こども発達支援センター そのとおりです。中々参加事業者を確保するのが難しい状況でしたが、これは実際に執行した結果、そのような声を受けて分かった事ですので、入札当初はそこまで想定していませんでした。
- 櫛部委員 予定価格は、どのように算定されたのか教えてください。
- こども発達支援センター 予定価格は、昨年度予算要求時点で、現リース会社に対して見積りをとりました。その金額が予算額になっていますが、今回、入札に当たり、メンテナンスを仕様書に含めました。昨年度の予算要求以降、現車両にかなり故障が増え、現在はその補償費用は当センターが担うことになっているので、そういった問題も考え、今回の仕様書にメンテナンスを含めています。  
今回の抽出案件の車両については、各ディーラーが運行しているマイクロバスは、いろんな規制により、製造を止めている状況であることが今回分かり、1者に絞られているという状況にあります。その車両は、現在市が使用しているものと若干異なり、改造が必要な状況にありました。今の子どもたちに対して配慮ができるかどうかも含めて、ディーラー側、園側とやり取りを何度もして改造が必要だということが分かったので、その部分の予算額が上がり、今回の予定価格はこのようなことを含めて設定しました。
- 櫛部委員 昨年度落札した事業者の価格を基に予定価格決めていたがそれにかなりメンテナンス料が加わる事が分かったので、今回、改めて、その予定価格にメンテナンス料を概算として加えた価格で入札を行ったということですね。メンテナンス料は大体どれくらいと算定されましたか。
- こども発達支援センター 予算額の2割を上限として設定し、改造にかかる部分を改めて設定し全体としては、改造が含むものが4割という概算を出しました。
- 櫛部委員 このマイクロバスのリース料は、新車でリース会社が購入するという形で一

旦市が借りるが最終的には買い上げになるのですか。それとも返すのですか。

- こども発達支援センター 最終的には返す形になります。あくまでリース会社が、ディーラーに見積りを出して購入し、その金額にリースの利益を乗せた金額を市に提示するという仕組みになっています。
- 櫛部委員 基本的にメンテナンスは全部リース会社が負うということなのですね。減価償却関係も全部リース会社が負うということですね。今回のこの請負った事業者ですが昨年度も同じ事業者であるのかそれとも、新規の事業者に頼んだのか教えてください。
- こども発達支援センター 新規の事業者です。既存の事業者も入札に参加していますが、今回、別の会社が落札しました。
- 長谷川委員 入札結果等閲覧台帳を見ると、1回目入札し、2回目辞退している事業者がありますが、辞退した理由を教えてください。
- こども発達支援センター 辞退理由はメンテナンスをする工場を確保することが難しいと以前から聞いており、その点で価格に折り合わないと判断されたと認識しています。
- 長谷川委員 リースに加えてメンテナンスもあると中々難しいということがあるのでしようが、吹田市が買い上げてメンテナンスを他に委託するという可能性もあると思います。そういう可能性は検討されているのですか。
- こども発達支援センター もともとは吹田市が所有する車両でしたので、リースではなくて市が買い上げ、そのメンテナンスも含め運行事業者に委託していたのですが、長期間、毎日運行するものなので、故障等が頻発するような状況が過去にもあり、その際に全面的にリースとする方向性を決め、現在はリースにしています。
- 小野委員長 今回の入札結果等閲覧台帳を見ると1回目の入札では2者が札を入れたけれども予定価格を超えたので、2回目の入札を行った経緯は分かるのですが、この1回目の入札で予定価格を超えた時に、2回目に移るときには、どんな説明をして2回目に移るのですか。予定価格を超えましたので2回目の入札をしますという説明をするのですか。
- こども発達支援センター 基本的にはそのようになっています。落札価格に至っていないので2回目を実施しますということで、事前に現場説明会でも説明しています。
- 小野委員長 1回目入れた額よりも若干低めに入れて、結果的に落札率が99.3%になったという理解でよろしいですかね。
- こども発達支援センター はい。分析をしたところ、この日の入札はこの車両の前に、案件17-1の入札を実施していますが、同じリース会社が840万円で入札し、落札しています。落札率は93.3%になっています。これを見越して、同事業者がこの案件の入札を実施した段階では、1回目の入札額が900万円でした。別日に先に入札している案件があり、その予定価格も公表しているので、ある程度車両価格の推定が付くと予想していました。そのため、まとめて入札すればそういったことはなかったと思いますが、

実際、ディーラーは市内で 1 者に限定されていて、事業者から、どちらのディーラーに見積りをとっているのか質問を受けていたので、全者にそれは告知しているの、ある程度車両価格の推定が付くことはやむを得なかったと思っています。

○小野委員長 こういうマイクロバスのリースを扱う事業者が増える見込みは、当面はないですか。

○こども発達支援センター そこまでは分かりかねますが、こちらの感覚としましては、車両自身の製造元がかなり少なくなっているのかと思います。排ガス規制等でやはりエンジンが適用しないということで、撤退されたりしていると以前から聞いていまして、少しずつ取り扱うディーラーが少なくなっていると思っています。

○小野委員長 それでは、この案件については特に問題がないものと考えます。

【案件 5】共通基盤システム構築業務（ESU 適用、国保システム及び文字管理サーバ OS 更新）

○櫛部委員 今回、あまりにも契約価格と予定価格との差があると思えました。決定率が 40.6%で、まずこの予定価格算定の妥当性について、どういう経緯で算定されたのか、例えば前年度の事業者に見積りを取ったなど色々な方法があると思いますが、その算定方法と、かつ、ここまでの差が出た理由はどのように考えているのかを教えてください。

○情報政策室 まず 1 点目の算定方法ですが、前年度の委託先事業者が今回の随意契約の対象でしたので、そちらに見積り依頼をしました。本市のやりたいことは仕様に落とし込んでいたので、それを基に見積りを取りました。予算要求まではそのように進んでいましたが、今回の業務では Windows のライセンス購入が必要になる作業があったのですが、そのライセンスの体系が複雑だったので、委託先事業者の方でも調査をしながら契約まで漕ぎ着けた状態でした。その過程の中で、もともとの予算よりも実際には低い額で契約するに至りました。以上が、1 点目の質問の予算をどのように算定し決めたかについてになりますが、見積りを仕様に基づいて事業者に出してもらい算定したということになります。

先ほど、Windows のライセンスの体系が複雑という話をしていたのですが、契約金額が低い理由については、もともと予算を取った段階で、いくつかこの業務の仕様に特殊な点がありました。この業務は通常でしたら、委託先事業者に作業をお願いするだけです、予算の段階ではそれに加えてソフトウェアを購入する予定でした。しかし、調査を進めていくと、一部不要なものがあると分かったので、その予算を下げるのができたのが、契約金額が低い理由の 1 点目です。

もう 1 点はこの業務は共通基盤と案件にも書いてあるとおり、いわゆる情報システ



ム部門が全庁を統括している共通のシステム基盤があり、その上に個別システムを立てるような作業で、ハードウェアのスペックが多く要求される、沢山のハードウェアが必要になる見込みでした。ただ、今回の抽出案件とは別に並行して構築作業を行う案件があり、それと併せてハードウェアのスペックを精査していくと、別の案件で賄えるものもあったため、本件で購入するハードウェアが減らせることができ、契約金額が低くなったものと考えています。

あとは微々たるものですが、この共通基盤システム構築業務の案件名のところですが、括弧の中で区切っている部分で、今回、ESU 適用、国保システム及び文字管理サーバ OS 更新という 3 つのテーマがあり、その 3 つを内容的に、1 つにまとめても整合性がとれ、逆に、効率化できるので、3 つの案件を 1 つに統合して、少し作業効率を高めたということもあります。これは本当に作業に関する微々たるものなので、契約金額が下がった理由としては最初の 2 点の Windows のライセンス購入が不要になったことと、ハードウェアの購入をする必要がなくなったことが非常に大きいと思っています。

- 櫛部委員** 予定価格を算定した時に比べてやらなくてよい事が出てきたということですね。
- 情報政策室** そうです。
- 小野委員長** 値段が安くなった経緯は説明で分かったのですが、これは事前に分かるのは難しいものなのですか。専門事業者でも難しいものですか。
- 情報政策室** そのとおりです。今回の落札事業者も小さい会社ではなく、Windows というマイクロソフト社との大企業同士のやりとりになるので、専門の窓口をきちんと持っていたにもかかわらずこういう状態になりました。専門事業者でも分かりにくかった背景ですが、マイクロソフト社としても、いわゆる例外の売り物で、最後まで分かりにくい案件であったと感じています。
- 小野委員長** 交渉するときにはいろいろ調べながら、何が必要かを判断すると思うのですが、そういう専門的知識は市の職員が出来る業務ですか。それともどこか他の事業者に協力を得ているのですか。
- 情報政策室** 実際には事業者の協力が必要不可欠ですので、事業者の有識者も携わって、進めていったと思います。予算が低減した原因を調べるところは、市の職員でも積極的に調べたところがあります。あくまで知識を収集するところは、市の職員も出来るところだと思っています。
- 小野委員長** 今回のこういう経験は将来的に色々な契約をする中で生きそうですか。
- 情報政策室** 今回の問題は将来においてもマイクロソフトとつき合っていく上で続いていく問題だと思しますので、何年かに 1 回はこの経験は生きてくると思います。
- 小野委員長** それから、この ESU のセキュリティサポート期間が終わった後でも使い続けることは結構あることなのですか。

- 情報政策室** 吹田市としては、ないように努めています。セキュリティリスクに繋がるので、お金をかけないといけない領域かなと思います。実際事業者と定例会の中での話では、この問題について全国の自治体の全てが対応できている訳ではないとは聞いています。
- 小野委員長** サポート期間が終わったので、新しいソフトを入れるお金と、ESU を使って、延長セキュリティをするお金とでは、どちらの方がお金がかかるのですか。
- 情報政策室** 今回の見積りでは ESU の方がはるかに安かったです。もともとこの手段を把握するまでは全面的に Windows のソフトを入れ替えないといけないと思っていたので、これとは比較にならないくらい大規模な見積りが出ていたので、調べた限りこの方法が安価にする方法だったと思っています。
- 長谷川委員** そういうセキュリティの対策の仕方は吹田市の側で調べないと中々見つからないものなのですか。マイクロソフトが積極的に情報提供しているのですか。
- 情報政策室** 調べないといけません。もしかすると、マイクロソフトから通知文みたいなものが来たりするのかもしれないですが、市の職員がそれを見て検知できる状態ではないのでサポート期間が近くなったら何ができるかをある程度、市の側で調べないといけません。
- 情報政策室** 少し補足ですが、本来的に Windows の期間が切れるのであれば、次のバージョンの OS を用意するのが基本的な流れになっています。今、全国のシステムを標準化しようという国の方針があり、令和 7 年度末が期限で改修をしないといけない中で、将来どうなるか分からない状態なのです。各システムがどういう状態で、その後運用されていくか、それをどのようにベンダーが提供されるのか分からない状態なので、新しいバージョンに全面的に替えに行くよりも、延長して、その場を凌いで令和 8 年度から、新しいシステムになった時に新しい OS を準備していくという流れになっています。このような考え方で延長する手段の方が安いのでこの ESU を選択しました。
- 小野委員長** それでは、この案件については特に問題がないものと考えます。

【案件 6】吹田市立吹田南小学校校舎大規模改造 Ⅰ期工事(建築工事)

- 契約検査室** 1 点、聴取事項に対する説明書について補足いたします。  
説明書の項目 2 番に最低制限価格の設定過程を記載していただき、その中段に、「工事の設計金額は、一部の見積もりを徴取することがありますが、」とあります。こちらについては、「一部の見積もりを徴取する」というのは、複数者に一部の見積もりを取ることでもあるという意味になります。
- 長谷川委員** 最低制限価格を算出するための計算式は公表していると資料に書かれていますが、今回の落札された事業者以外にも同じような価格になった理由は、計算式を公表

している結果、入札価格がどこの事業者も同じような価格になったということですか。

- 契約検査室** 計算式に基づきまして、事業者の方も独自に、この工事の積算をしています。その積算に基づき入札して、このような結果になったのだと考えています。
- 長谷川委員** もう 1 点、説明書を拝見して気になったのがその次の段落で、「入札価格は一様ではないため」と書かれていますが、もう少し具体的に説明していただけますか。
- 契約検査室** 今回の案件では 16 者、入札をしまして、それぞれの 16 者がそれぞれの価格で入札をしたということで一様でないという表現を使いました。
- 小野委員長** この入札見積結果情報という一覧表を見ると、他の事業者も非常に近い金額で、せめぎ合いだったというのは分かります。最終的に落札した事業者が最低制限価格と同額になったのは偶然ということでしょうか。
- 契約検査室** 吹田市では最低制限価格を決める際に、ランダム係数を使用しているので、偶然であったという表現は適当と考えています。
- 小野委員長** 他の事業者もおそらく最低制限価格ぎりぎりを攻めようと思って、多分、それぞれが独自に考えたけれども、この事業者がたまたま偶然当たったということですね。
- 小野委員長** それでは、この案件については特に問題がないものと考えます。

【案件 7】吹田市立吹田南小学校ほか 6 校ほか中学校 2 校特別教室等空調設備移設等業務  
吹田市立第二中学校ほか 1 校特別教室等空調設備移設等業務

- 長谷川委員** 各案件で相手方が異なる理由は P F I 事業で対象校の施工事業者が違うからということですが、そもそもなぜ違う事業者に P F I 事業を任せただけですか。
- 学校管理課** P F I 事業で行った元々の特別教室等空調設備整備事業についてですが、P F I 事業の受注に当たって、特別目的会社を作っていただいております。P F I 事業ですので設計、施工、工事監理、維持管理すべてを一括して発注していますが、その特別目的会社の中で施工を担当する会社は 3 者あります。施工を担当する 3 者が入ったグループになっているということです。
- 長谷川委員** 3 者が入ったグループとはどういうことですか。
- 学校管理課** 公募により、事業者を選定しましたが、公募の段階では施工、設計、工事監理、維持管理のうち、どの業務をどこの会社が担うのかが分かるようにして、グループを組んで応募してくださいという形を取りました。選定されたグループには、この P F I 事業の仮契約までの 2 か月程の間に、特別目的会社を設立していただくこととしていました。このように、複数の企業がグループを組み P F I 事業を受注していますが、そのグループには施工を担当する 3 者が入っているということです。
- 契約検査室** 例えば吹田南小学校はその施工企業の 3 者のうちの 1 者が担当して、第二

中学校はその3者の内の別の1者が施工を担当したから、その学校を担当したそれぞれの会社に今回業務を依頼したということですね。

- 学校管理課** そうです。
- 契約検査室** 1グループに3者いて、その3者で54校を手分けしたということですね。
- 学校管理課** そうです。
- 長谷川委員** 今回の空調設備の移設等業務自体は、これは学校ごとに業務を別々で考えるのではなく、吹田市の小中学校全部の空調設備移設等業務として捉えているということですか。
- 学校管理課** 元々のPFI事業は、小中学校全部の特別教室等空調設備整備の一括発注ですが、学校によって、それぞれ仕様も細かいところは異なっておりました。本件移設等業務については、PFI事業の受注グループ内の個々の企業に、PFI事業でそれぞれ施工した学校の移設業務を発注したものです。
- 長谷川委員** 別々の事業者が発注しなくていいのではないかと、それぞれをまとめて発注すれば規模が大きくなるので、その分コストが減るのではないかと思います。
- 学校管理課** やはり工事で現場に携わった事業者の方がよくその現場を知っているのも、それぞれ行うのが適切と考えています。
- 長谷川委員** そもそも、もともと別々に分けていたのがなぜなのか疑問なのです。
- 学校管理課** 当初設置したときは、54校に1年以内という短期間で、特別教室に空調を設置するという業務でしたので、1者でできる事業ではないので、当初から今回請負ったグループは施工を3者に分けていました。
- 長谷川委員** 事業者は複数の学校をまとめて担当しているのですか。
- 学校管理課** 一つの事業者が何校かを同時に請負って順次施工を行いました。
- 小野委員長** この空調設備整備事業は、吹田学校空調株式会社が行っているということですね。それで本件で問題になっている契約は空調の移設等の業務ですが、その業務を行う相手方は、それぞれの学校について、当初施工をした事業者を選んだということですか。
- 学校管理課** そのとおりです。
- 小野委員長** そのように当初設置された会社なので、移設について入札ではなく、随意契約にする必要があったということですね。
- 学校管理課** 今回の全体の事業としては、PFI事業で維持管理まで含めこの業務に入っています。維持管理はただ単にフィルターを変える等ではなく、教室について市が要求水準で指定した温度の維持管理を、その事業者が保ち続ける必要がある業務なので、随意契約である必要があると考えています。
- 小野委員長** もう1点、吹田市立小・中学校特別教室等空調設備整備事業の内容ですが、履行期間は令和2年12月18日から令和16年3月31日までと、まだまだ続くことになりますよね。そうすると、この間に必要な補修工事等があると思いますが、それも

同じように施工事業者に対する随意契約ですることになりますね。

- 学校管理課** そのとおりです。
- 小野委員長** それでは、この案件については特に問題がないものと考えます。

【案件 8】吹田市立小中学校等無線通信式防犯カメラ機器賃貸借契約

- 長谷川委員** 見積を基に予定価格を算定しているということですが、見積を取得した事業者が今回入札した事業者ですか。
- 学校管理課** 見積を取得した事業者は、今回、入札した事業者ではございません。
- 長谷川委員** なぜその事業者が入札しなかったのかは分かりますか。
- 学校管理課** 確認をしたところ、1者は、他に受注した業務があり、参加を見送ったということでした。もう1者は入札があることを、知らなかったと聞いています。
- 長谷川委員** 聴取事項に対する説明書に、「公告時に入札周知期間を長く取るなどして」と書かれていますが、今回の周知期間はどれくらいだったのですか。
- 学校管理課** 今回は公告日が4月6日で、入札の期日が4月28日です。
- 長谷川委員** 約3週間ですね。仮に周知期間を長くした場合、今回、入札を知らなかった事業者が入札した可能性はあったのですか。
- 学校管理課** 事業者への聞き取りでは、知っていれば参加したかもしれないと聞いています。
- 長谷川委員** ただ周知期間を長くしたからといって、こういう公告があったということを知ったとは限らないと思います。何か別の対策が必要ではないかと思います。
- 学校管理課** 長くしたからといって事業者が気付いてくれるのかというのはそのとおりです。せめて見積りを取る時には、いつごろ、市が発注を考えているかという程度は、事業者伝えていてもよかったかなと思います。具体的な日にちを伝えるのは良くないと思いますが、次回見積りを取る際には、そういったことも含めて考えたいと思います。
- 櫛部委員** 入札が1者ということが、今回、抽出案件になった一番の理由だと思いますが、例えば担当課としてこういう案件があるということ、色々なめぼしい事業者に参加してくれないか声をかけることはいけないことですか。他の部署でも入札に参加する事業者の人数を集めるのにかなり努力されていると聞きました。この案件も積極的に参加してくださいと事業者に言うことは可能でしょうか。
- 学校管理課** 公告を出すときに、特定の事業者にだけ言うのはよくないことだと考えています。
- 小野委員長** 今回の賃貸借契約は、内容的には、市立の小中学校の全54校の校門119か所等に、防犯カメラを設置して5年間カメラの賃貸を行うという業務ですが、この

業務は、新規の契約になるのか、既にあったものの継続になるのかどちらですか。

- 学校管理課** 今回は新規の業務です。
- 小野委員長** 今まで校門には防犯カメラが無かったが、新しくセキュリティのためにカメラを設置しようということで、この契約を行ったということですか。
- 学校管理課** 一部の学校は既に地域の方やPTAがカメラを設置していたのですが、今回の事業は市内小中学校すべてを対象としてカメラを設置する事業になっています。
- 小野委員長** 賃貸借契約にされていますが、こういう契約に対応してくれそうな事業者は、何者くらいあるのですか。
- 学校管理課** 仕様書や見積書を事業者からいただくにあたり、事前に他の部署を確認をし、複数者このような業務を吹田市で行っているのを把握していました。
- 小野委員長** 見積りを取ったのは2者と書いてあるのと、今回落札した事業者がいますので3者はいるのが分かるのですが、それ以外にもありそうなのですか。
- 学校管理課** 現在、把握している事業者では、過去に別の部署で入札があった案件を含めて、6者は資格があると確認しています。
- 小野委員長** 入札の案件ですので、なるべく競争していただきたいと思います。色々な方法があるかもしれませんが、複数の事業者が入札して、競争が適正に行われるようにしてもらいたいと思います。次回、同じようなことがありましたら、心掛けて欲しいと思っています。
- 小野委員長** この案件は最後に私が申しました事を改善するようにお願いします。

#### 【案件9】吹田市立片山中学校職員トイレ改修工事（機械設備工事）

- 小野委員長** この案件、入札者が複数いるのに落札率が100%になった経緯について、説明をしていただきました。予定価格どおりに入れている事業者が結局、落としたということですが、これは工事案件ですので予定価格は公表されていて、公表された予定価格のとおりに入れて、それで落としたということです。懸念としては、この落札事業者が本気で取りにいったのかということです。本気で取りに行くのであれば予定価格が公表されているので、どこまで企業努力で下げることができるか検討して自分なりの価格を考えて、入札してくるのでしょうか、そうではなく、予定価格のとおりに入れるということは、落とせなくてもいいという考えだった可能性があると思います。ですから、そういう事業者が落とした時にちゃんと工事をしてくれているのかという思いもあります。他の案件でも同じ事業者が落としているので、心配になるのですが、この辺りはどのようにお考えでしょうか。
- 契約検査室** 満額で落札した事業者が工事成績等で平均点以上取れているかなど、そういった統計等はとってないですが、実態としては工事の履行において途中での契約解

除等は近年、事例はありません。

- 小野委員長** 予定価格どおりに入れてくる事業者は、本当に落札する気があるのかと素人目には思うのですが、担当課としては、そういう入札の方法をして来る事業者はどの様に見ていますか。
- 学校管理課** 今回、工事監理を担当した学校管理課ですが、少なくとも今回の事業者に関しては特に問題なく、どちらかというところとすごくしっかりした事業者でした。他の工事に関しても、落札率が100%に近いところであったり、低いところであったり、色々ありますが、それによって工事の質が悪く感じたことはあまりありません。
- 小野委員長** 本件の場合もなぜ予定価格どおりに入れた事業者が最後に残ったのかは、それぞれの契約においてそれぞれ事情があって、結局この事業者になったということはよく分かったのですが、契約する側としたら、予定価格どおりに入れてきたからといって、特段の心配はしてないですか。
- 契約検査室** 基本的には最大の効果を得るためには満額で入れるよりは、最低制限価格付近で契約することが望ましいとは思いますが、今回の工事で言いますと年度始めであり、管工事はそもそも事業者数が少なく、物価上昇や人手不足は工事全体で聞いていますので、現実問題として、最低制限価格付近にならないことは時々どうしてあるとは感じています。
- 小野委員長** 入札結果等閲覧台帳を見ていると、辞退している事業者も結構多いと思うのですが、辞退が多いのはどんな事情と理解されていますか。
- 契約検査室** 本案件は年度初めの工事ではあるのですが、ある程度入札が終わった段階の工事になります。また、本案件は土木工事ではなく建築工事であり、事業者が民間の工事も持っている場合もあることが考えられます。あとは物価について、特に機械や電気の設備工事は、物価で色々先読みができない、折り合いがつかないという話も聞いているので、手持ち工事の状況やインフレ等の関係で辞退が多くなったという認識でいます。
- 櫛部委員** 無効や失格が今回は出やすい状況であったということですが、このようなことは頻繁に起きることなのですか。失格やわざわざ無効にすることが本当に実態として頻繁に起こることなのか、かなり珍しいことなのか教えてください。
- 契約検査室** 本案件につきましては、失格者が2者いるのですが、こちらは最低制限価格を下回った事業者で、先ほどの案件でランダム係数を使用しますという話をしていたのですが、いわゆるランダム係数が、指名競争入札では0円から▲9万9,000円まで幅があるのですが、こちらは1万5,000円しか下がらなかったため、最低制限価格が比較的高く設定されてしまい、事業者が失格になったと思います。
- 長谷川委員** 先ほど、きちんと工事をやっているという話でしたが、具体的にどうやってそれを確認されたのか教えてください。
- 学校管理課** 工事終了後、検査を行うのですが、出来栄や図面との最終整合性、変更が

あれば図面をきちんと直して、適切な処理をしているかどうかや、あとはちょっとした出来栄で、丁寧に工事されているか等で判断しています。

- 長谷川委員** 工事の途中で何かチェック等はされているのですか。
- 学校管理課** 工事の途中の段階では工事の監理の担当者が別にいますので、当然途中の段階でチェックはしていますし、見えないところに関しては写真をきちんと撮るようになっているので、その写真を後で確認することも可能です。
- 小野委員長** それでは、この案件については特に問題がないものと考えます。

(3) 令和4年度吹田市入札等監視委員会委員からの意見の対応状況の報告について

- 事務局** 資料5に基づき説明。今年度の入札等監視委員会で頂きましたご意見につきましては、各契約担当室課で対応を検討させていただきまして、来年度の入札等監視委員会のいずれかの回で、1年分をまとめて御報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

- 小野委員長** 本日の審議案件は以上で終了いたしました。審議の中であった各意見については、後日、事務局でとりまとめていただき、各委員に報告して確認を得た後、委員会の意見とします。それでは、以上をもちまして令和5年度第2回吹田市入札等監視委員会を閉会いたします。